



椎の木

平成30年3月1日

朝霞市立朝霞第八小学校

電話：048-465-8381

男子 547名 女子 511名 1058名

【学校教育目標】 **かしこく・やさしく・たくましく**

始めの一步の大切さ

校長 鈴木 聡

20年ほど前から花粉症の症状が出ている私は、目が痒くなりだすと春の近さを感じます。今年も早くも、下手に触ろうものなら目玉を取り出して丸洗いしたくなるほどの痒みを感じています。そう、もう春なのです。

さて、3月になると、この1年間の子どもの成長を考えます。この1年間、私は、『having a Go! (やってみようよ!)』と、機会あるたびに、子どもたちへ投げ掛けてきました。この言葉で子どもの背中を押し、始めの一步が出やすくなればとの思いからです。例え、始めの一步を踏み出したからと言って、全てが順調に進むとは考えていません。ゴールまで順調に歩み続けることもあれば、途中で立ち消えになることもあるでしょう。私は、それでいいと考えています。なぜなら、目標（本人が意識しているか否かに拘わらず）達成に向けて自ら動く経験をするのが重要だからです。たとえ一つ一つは薄いものであったとしても、回を重ねることで積み重なり、大人になる頃には一步を踏み出すことが普通になるのではないかと期待するからです。私には、子どもが自分の意志で、始めの一步を踏み出せるかどうかこそが最大の関心事なのです。

2学期のことと思いますが、ある男子児童から、「having a Go! ががんばってます!」と声を掛けられました。また、校長ポストに「〇〇ができるようになりました。」という手紙も数回もらいました。他愛のないことですが、とても嬉しく感じました。そして、この子どもたち以外にも多くの子どもたちが、始めの一步を踏み出してくれていると、私は確信することができました。

子どもたちがそれぞれの一步を踏み出した後は、保護者・担任等、子どもの周りの大人の方々に支援していただくこととなります。何とも無責任な話で恐縮ですが、子どもの発達段階に応じたご支援をお願いいたします。なお、言うまでもありませんが、支援の基本は『認め、褒め、励ます』ことにあります。

◆この1年、たくさんの方々に支えていただきました。お世話になりました!!

- 保護者と先生の会：役員・代表委員の方々をはじめ保護者の皆様には、本校教育活動にご理解を賜り、多方面においてご協力いただきました。特に、衛生作業や除草作業など、学校だけでは手の回らないところへのサポートには大変感謝申し上げます。読み聞かせサークル「ピッピ」の方には図書室活動の充実を、103の会の方にはイベント開催等を通して地域交流にもお力添え頂きました。
- 学校応援団「八枚のはね」：毎週水曜日の八枚のはねルームの開催、図工や家庭科、生活科や総合的な学習の時間等の学習支援や学校農園のお手伝い、学級支援、登下校の見守り等、多くのお力添えを頂きました。多くの保護者、地域の皆様にもご協力を頂きました。フットワークのよさに大変助けられました。
- 交通指導員さん、ぐらんぱの会の皆さん、民生委員児童委員並びに主任児童委員の皆様、各町内会の皆様等、多くの方に様々な場面でご支援頂きました。

保護者、地域の皆様、誠に有難うございました。